

# 福島県北



## ◆ニュースファイル

◆福島大の教養講座 このほど同大で開き、参加者は講演を通じて教育などに理解を深めた。同大総合教育研究センター主催。県内の小・中



・養護学校の教職員と市民ら約六十人が参加した。富田孝志県教育長が「福島県が目指す教育」と題して講演し写真。少子化の影響で子ども同士に触れ合いの機会が減少

ってきていることを懸念し「交流の中で精神的な成長が大切」と語った。明珍昭次同大名誉教授も「愛について考える」のテーマで講演した。

◆女性大学講座 最終講座をこのほど福島市民会館で開いた。写真。同市婦人団体連絡協議会と市教委主催で約八十人が参加した。福島博報堂の瀬藤晃社長が「探そう福島の魅力」と題して講演。初めて福島市を訪れた際の話を紹介し「福島市をより良い都市にするために同じ視点を持つ仲間を持つことが大切」と語った。

◆私たちが元気で賢く生きていくための勉強会

最終講座を八日、福島市清水学習センター分館で開いた。写真。同市生涯学習アドバイザー北部支部会主催で、主婦ら約三十人が参加。市消費生活センターの波田野京子主任、丹治陽子主査が振り込み詐欺や架空請求の被害に遭わないようアドバイスした。寸

平成17年度 第34回女性大学講座



講座は「安全・安心に暮らせる福島市をめざして」をテーマに五回にわたって開いた。

劇を交えた講義を通じて、悪質商法から身を守る術を学んだ。サンマとひじきの缶詰を使った調理実習もあり、参加者は親ばくを深めながら料理を味わった。



勉強会は市のふくしま協働まちづくり事業「コラボ☆ふくしま」の補助を受け、計五回開いた。◆Re・Be・Workセミナー 八、九の両日、福島市働く婦人の家で開いた。二十一世紀職業財団福

島事務所主催で、育児や介護のために退職し、再就職を希望する人に、就職に必要な知識を身に付けてもらうのが目的。市内の約十人が参加。生涯学習開発財団認定コーナーの原田祥子さんのアドバイスで、三人一組の模擬面接をした。写真。再就職に向けた準備状態をチェックするワークシートづくり、職務経歴書の作成などもあった。



◆豊かな食生活体験学習会 このほど福島市中央学習センターで開き、県産大豆を使った料理を学んだ。写真。県北農林事務所主催。主婦ら約二十人が参加。同市松川町の県認定



農業士永山乃里江さんが「わたしの大豆へのこだわり」と題して講演した。同市鎌田のうつくしま「食」「農」サポーター吉田秀雄さんが大豆入りミネストローネスープと木綿豆腐衣揚げ赤みそか

- 本社 福島市太田町二二一七 電話024(531)4128  
 伊達支社 保原町字元木六〇一 電話024(575)2603  
 二本松支局 二本松市金色久保二二六一八 電話0243(22)1313  
 川俣支局 川俣町五百田一六一三〇 電話024(566)3457  
 飯坂支局 福島市飯坂町字梅津一三 電話024(542)4006  
 本宮支局 本宮町仁井田字栴形七二七 電話0243(33)5221

身近な情報をお知らせ下さい